

はじめに

クビアカツヤカミキリは、サクラやウメ、モモ、ハナモモなどのバラ科樹木を食害して枯らしてしまう外来種です。本来は、中国、朝鮮半島、台湾、ベトナム北部、ロシア極東部に分布している昆虫ですが、物流に伴って日本国内に侵入したものと考えられています。本種の成虫は、黒くてつやのある体に、“首”のように見える前胸部が赤いのが特徴です。幼虫がサクラやウメ、モモ、ハナモモなどのバラ科樹木の内部を食い荒らすため、果樹園やサクラ並木等で大きな被害が出ており、2015年に「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」に掲載されたのち、2018年1月には「特定外来生物」に指定されました。

2023年1月現在、13の都府県において被害が確認されています。都内においても、2015年に多摩部で被害が初確認されて以降、2020年には区部でも確認されました。これまでの分布状況を考えると今後更なる被害地域の拡大が懸念されています。

繁殖力や拡散能力が高い本種の被害を食い止めるためには、何よりも早期発見、早期防除が不可欠です。この手引は、本種の被害地域の拡大を防止して被害を最小限に食い止めるため、自治体の担当者や施設管理者向けに、被害のを見つけ方や防除に当たった考え方について解説したものです。本手引をご活用いただき、クビアカツヤカミキリ対策の一助となれば幸いです。

本種の生態には未解明な点も多く、防除手法については鋭意開発が進められています。今後も新たな情報や知見が得られた場合には随時更新していきます。

東京都環境局自然環境部

2023年3月

<改訂履歴>

「クビアカツヤカミキリ防除指針 第1版」(2019年1月)

「クビアカツヤカミキリ防除指針 第2版」(2020年1月)

「クビアカツヤカミキリ防除の手引」(2021年3月)

「クビアカツヤカミキリ防除の手引」(2022年3月)

「クビアカツヤカミキリ防除の手引」(2023年3月)

目 次

I	クビアカツヤカミキリに関する基礎情報	
1.	クビアカツヤカミキリの特徴と生態	1
(1)	特徴	1
(2)	生活史	2
(3)	法的な取扱い	6
2.	被害の特徴	7
II	クビアカツヤカミキリの被害状況	
1.	全国における被害状況	8
2.	東京都における被害状況	9
3.	関東地方における被害状況	10
III	被害確認から防除完了までの取組	
1.	全体の流れ	15
(1)	被害の確認・点検方法の年間スケジュール	15
(2)	被害木や成虫が確認された場合の対応の年間スケジュール	16
2.	具体的な取組	17
(1)	被害の確認・点検方法	17
STEP 0	早期発見のための情報収集	17
(2)	被害木や成虫が確認された場合の対応	22
STEP 1	被害状況確認調査の実施	22
STEP 2	防除計画の作成	23
STEP 3	防除の実施	24
ア.	薬剤（農薬）	24
イ.	ネット巻き	32
ウ.	捕殺・刺殺	34
エ.	伐採・抜根	35
STEP 4	経過観察とモニタリング調査の実施	39
IV	情報発信・普及啓発	
(1)	広報紙やホームページ、掲示、回覧等の活用	40
(2)	現場技術講習会の実施	41
(3)	被害地域とその周辺地域における技術支援の実施	41
(4)	被害発生状況の周知と市民参加による防除活動	42
(5)	事例紹介	42
■	参考・引用文献	